

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の研究対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (承認番号)	腹腔鏡下子宮全摘術前のレルゴリクス投与についての検討 (承認番号:)
当院の研究責任者 (所属)	設楽 明宏 (由利組合総合病院 産婦人科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的・概要	経口 GnRH アンタゴニスト「レルゴリクス」は、日本で開発され、2019 年 1 月から子宮筋腫に基づく症状、過多月経、貧血の改善目的に製造販売が承認された。子宮筋腫の手術適応となるまでの保存療法、または閉経逃げ込み療法などに使用されている。当施設でも 2019 年 5 月よりレルゴリクスを採用し、主に子宮筋腫術前の保存療法として使用している。術前のレルゴリクス投与に関しては、子宮(筋腫)サイズの縮小、および術前の貧血改善効果があり、術中出血量の減少、手術時間短縮、合併症減少効果が期待できると考えられている。しかし、レルゴリクスの子宮筋腫術前使用に 関しての研究結果は十分ではない。本研究は、子宮筋腫術前のレルゴリクス投与についての有用性を明らかにすることを目的とする。
調査データ 該当期間	2021 年 4 月から 2025 年 3 月
研究の方法 (使用する資料等)	●対象となる患者さま 調査該当期間に、子宮筋腫の診断で術前にレルゴリクスを投与し腹腔鏡下子宮全摘術を施行した患者 ●利用する情報 年齢、BMI(身長、体重)、レルゴリクスの投与期間、副作用の有無、MRI 画像、超音波検査画像
資料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	本研究成果は産婦人科分野の学会誌への論文投稿を予定している。また、適宜学会発表を行う。 また、本研究は「JA 共済連委託研究」に採択されており、JA 共済連の規定に則り、報告書を作成する。
個人情報の取り扱い	データ収集ならびに研究結果の公表に際して、個人情報 は匿名化し、個人が特定できないように配慮する。 「個人情報の保護に関する法律」及び適応される法令等を遵守する。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
問い合わせ先	電話:0184-27-1200(代表) 産婦人科:設楽明宏 事務長:松田眞吾
備考	